

令和4年

第2回北杜市議会臨時会会議録

令和4年7月25日 開会

令和4年7月25日 閉会

山梨県北杜市議会

令和 4 年

第 2 回北杜市議会臨時会会議録

7 月 2 5 日

令和4年第2回北杜市議会臨時会（1日目）

令和4年7月25日
午後 1時30分開会
於 議 場

1. 議事日程

諸 報 告

日程第1 会議録署名議員の指名

日程第2 会期の決定について

日程第3 議案第49号 令和4年度北杜市一般会計補正予算（第5号）

2. 出席議員（20人）

1番 高見澤伸光	2番 輿水 崇
3番 中山喜夫	4番 小林 勉
5番 神田正人	6番 大芝正和
7番 秋山真一	8番 進藤正文
9番 清水敏行	10番 井出一司
11番 志村 清	12番 齊藤功文
13番 福井俊克	14番 加藤紀雄
15番 原 堅志	16番 清水 進
17番 野中真理子	18番 保坂多枝子
19番 内田俊彦	20番 秋山俊和

3. 欠席議員（なし）

4. 会議録署名議員

16番 清水 進	17番 野中真理子
18番 保坂多枝子	

5. 地方自治法第121条の規定により説明のため出席した者の職氏名（29人）

市長	上村英司	副市長	小林明
北杜未来部長	宮川勇人	総務部長	板山教次
企画部長	中田治仁	市民環境部長	小泉雅人
福祉保健部長	清水市三	こども政策部長	大芝一
産業観光部長	中山和彦	建設部長	齊藤乙巳士
教育長	輿水清司	教育部長	加藤寿
上下水道局長	浅川和也	会計管理者	八巻弥生
監査委員事務局長	輿水伸二	明野総合支所長	三井喜巳
須玉総合支所長	内藤肇	高根総合支所長	小尾正人
長坂総合支所長	平島長生	大泉総合支所長	三井博彦
小淵沢総合支所長	宮崎良彦	白州総合支所長	小澤永和
武川総合支所長	花輪孝	政策推進課長	川端下正往
総務課長	佐藤康弘	財政課長	進藤修一
福祉課長	櫻井義文	子育て政策課長	中澤徹也
商工・食農課長	福田和久		

6. 職務のため議場に参加した者の職氏名（3人）

議会事務局長	植松宏夫
議会書記	津金胤寛
議会書記	唐澤史明

開会 午後 1時30分

○議長（加藤紀雄君）

本日ここに令和4年第2回北杜市議会臨時会が招集されましたところ、議員各位にはご出席をいただき、誠にありがとうございます。

本日の出席議員数は20人であります。

定足数に達しておりますので、令和4年第2回北杜市議会臨時会を開会いたします。

これから、本日の会議を開きます。

なお、加藤農業委員会事務局長は一身上の都合により、本日の会議を欠席する旨の届け出がありました。

諸報告をいたします。

はじめに、本臨時会に提出される議案につき、市長から通知がありました。

提出議案は、議案1件であります。

次に、令和4年6月実施分の例月現金出納検査の結果について、お手元に配布のとおり報告がありました。

次に、6月7日に南アルプス自然環境保全活用連絡協議会総会が静岡県で開催され、私が出席いたしました。

次に、山梨県後期高齢者医療広域連合議会から報告がございます。

山梨県後期高齢者医療広域連合議会議員 齊藤功文君、報告をお願いいたします。

齊藤功文君。

○12番議員（齊藤功文君）

朗読をもって、報告とさせていただきます。

令和4年第1回山梨県後期高齢者医療広域連合議会臨時会報告書

山梨県後期高齢者医療広域連合議会議員 齊藤功文

令和4年第1回臨時会が、山梨県自治会館2階 第1、第2研修室において7月11日に開催され、私が出席いたしました。

はじめに、議会運営委員会委員の任期満了に伴い、新たに早川町選出の米山久志議員が選任されました。

提出された議案は、訴訟案件1件、補正予算案件1件の計2件であります。

まず、議案第7号 訴えの提起については、第三者行為による損害賠償請求権に基づき、損害賠償金を相手方に求償したが支払いに応じていない。よって、訴えによりその支払いを求めため、地方自治法第292条の規定により準用する同法第96条第1項第12号の規定により、議会の議決を求めるものであります。

次に、議案第8号 令和4年度山梨県後期高齢者医療広域連合一般会計補正予算（第1号）については、歳入歳出予算の総額に歳入歳出それぞれ355万円を追加し、歳入歳出予算の総額を歳入歳出それぞれ5億2,697万5千円とするものであります。補正の主な内容は、歳入については、財政調整基金繰入金金の増額で、歳出については、訴訟に伴う弁護士費用等の報償費を増額するものであります。

以上、2議案いずれも原案のとおり可決されました。

以上で、令和4年第1回山梨県後期高齢者医療広域連合議会臨時会の報告を終わります。

○議長（加藤紀雄君）

以上で諸報告を終わります。

なお、報道関係者から撮影の申し出があり、これを許可いたしましたのでご了承を願います。

これから本日の日程に入ります。

本日の議事日程はあらかじめ、お手元に配布したとおりであります。

○議長（加藤紀雄君）

日程第1 会議録署名議員の指名を行います。

会議規則第86条の規定により、

16番議員 清水 進君

17番議員 野中真理子君

18番議員 保坂多枝子君

を本臨時会の会議録署名議員に指名をいたします。

○議長（加藤紀雄君）

日程第2 会期の決定についてを議題といたします。

お諮りいたします。

本臨時会の会期は、本日1日限りといたしたいと思えます。

これにご異議ありませんか。

（異議なし。の声）

異議なしと認めます。

したがって、本臨時会の会期は、本日1日限りと決定いたしました。

○議長（加藤紀雄君）

日程第3 議案第49号 令和4年度北杜市一般会計補正予算（第5号）の1件を議題といたします。

市長からあいさつおよび提出議案に対する説明を求めます。

上村市長。

○市長（上村英司君）

令和4年第2回北杜市議会臨時会の開会に当たり、ごあいさつ申し上げます。

本日ここに市議会臨時会の招集をお願いしたところ、議員の皆さまにおかれましては、公私ともご多忙の中、ご出席を賜りまして感謝申し上げます。

さて、今月8日、安倍晋三元総理大臣が逝去されました。

安倍氏は、平成15年に須玉町津金地区の三代校舎ふれあいの里を訪れ、そば打ちや田植えをされました。地域住民にも明るく親しげに声を掛けられ、終始和やかな雰囲気だったと伺っております。

ここに謹んで哀悼の意を表し、心よりご冥福をお祈り申し上げます。

新型コロナウイルスの感染状況ではありますが、感染力が強いオミクロン株の変異系統BA.5への置き換わりが進み、過去に例を見ない規模で全国的に新規感染者数が増加しております。県では、今月20日に初めて新規感染者数が1千人を超え、本市においても子どもを中心に

感染が拡大している状況であります。

市では、早めの対策を講じるため、今年15日に新型コロナウイルス感染対策会議を開催し、市が主催する催しもの等の開催について、延期や中止、オンライン対応による開催を基本とする方針を決定いたしました。

これにより、今年開催を予定しておりました「市長と語る会」や「未来創造オープンカレッジ」については、延期することとしたところであります。

一方、ワクチン接種については、現在、65歳以上の高齢者や重症化リスクの高い方を対象に4回目の接種を進めており、また来月には、予約不要の3回目、4回目の接種を実施するなど、引き続きワクチン接種の促進に努めてまいります。

これからの時期は、夏休みに入り、行動が活発な時期になりますが、各ご家庭や職場等において、万全の感染対策、また熱中症対策を取っていただきますよう、市民、事業者の皆さまにお願い申し上げます。

次に、物価高騰対策についてであります。

食料品やガソリンなど、生活必需品の値上げが相次いでおり、今後も値上げが予定されているなど、市民生活や企業活動への更なる影響が及ぶことが懸念されることを踏まえ、市では今回、国の交付金を活用したプレミアム付商品券の販売と、生活弱者の方を対象とした商品券の配布を実施するため、本臨時会に所要の予算をお願いしたところであります。

次に、須玉町小尾の和田地区で発生した大規模な火災にかかる瓦礫の撤去についてであります。

先月から地域の皆さまや、ボランティア団体による瓦礫の撤去作業が始まり、今月上旬には作業が完了したとの報告を受けたところであります。

ボランティア団体の方々には、お忙しい中、作業を続けていただきましたことに対しまして、市として感謝の意を示したいと考えております。

こうした市内外の方のご厚意をお借りしながら、一日でも早い和田地区の復興を改めて切に願うものであります。

次に、民間資本を活用した公共施設の屋根への太陽光発電設備導入の促進についてであります。

本庁舎への再生可能エネルギー等の導入に関しては、今年5月に事業者の選定を行い、その後、協議を重ねた結果、今年29日に協定を締結する運びとなりました。

今年30日から着工となりますので、皆さまにはご迷惑をおかけいたしますが、ご理解・ご協力のほど、よろしくお願い申し上げます。

今回の事業を足掛かりに、他の公共施設への再生可能エネルギー等の導入を進め、脱炭素社会の実現を目指してまいります。

それでは、提出案件の内容につきまして、ご説明申し上げます。

議案第49号 令和4年度北杜市一般会計補正予算（第5号）についてであります。

今回の補正予算は、物価高騰等が続く中、その影響を受けている市民の皆さまの生活を支援するとともに、地域経済の活性化を図るため、国の新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金を活用し、昨年度に引き続きプレミアム付商品券事業を実施することとしたため、これに必要な事業費を計上するものであります。

以上の内容をもって編成いたしました結果、一般会計の補正額は5億7,194万2千円と

なり、歳入歳出予算の総額はそれぞれ299億8,621万円となります。

内容につきましては、企画部長から説明いたしますので、よろしくご審議の上、ご議決のほどをお願い申し上げます。

○議長（加藤紀雄君）

日程第3 議案第49号 令和4年度北杜市一般会計補正予算（第5号）を議題といたします。

内容説明を求めます。

中田企画部長。

○企画部長（中田治仁君）

議案第49号 令和4年度北杜市一般会計補正予算（第5号）について、ご説明いたします。

補正予算書の1ページをお開きください。

歳入歳出予算の総額にそれぞれ5億7,194万2千円を追加し、歳入歳出予算の総額を299億8,621万円とするものであります。

次に、歳入歳出予算の補正内容についてご説明いたしますので、2ページ、3ページをお開きください。

はじめに、歳入であります。

まず、15款2項国庫補助金2億157万4千円の増額は、新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金であります。

19款2項基金繰入金1億3,936万8千円の増額は、財政調整基金繰入金であります。

21款5項雑入2億3,100万円の増額は、プレミアム付商品券の販売収入であります。

次に、4ページ、5ページの歳出であります。

7款1項商工費5億7,194万2千円の増額は、物価高騰等の影響を受けている市民の生活を支援するとともに、地域経済の活性化を図るため、プレミアム付商品券事業にかかる費用を計上するものであります。

以上であります。よろしくご審議の上、ご議決いただきますようお願い申し上げます。

○議長（加藤紀雄君）

説明が終わりました。

これから質疑を許します。

質疑はありませんか。

内田俊彦君。

○19番議員（内田俊彦君）

令和4年度7月補正予算につきまして質疑をさせていただきますが、今回につきましては、15款の国庫支出金、これは地方創生臨時交付金でございまして、この交付金の目的は物価高騰に係る生活者支援、また事業者支援と、こういう形の中で、多くのメニューが国から示されているところでございます。

そういたしますと、今回、プレミアム付商品券ということで、市長はその判断をされたと、こういうことでございますけれども、実際、プレミアム付商品券というのは、やはり買わないと、その買った分の恩恵は市民に行き渡らないと、こういうことになります。

そういった中で、市としての、75歳以上の一人暮らしの世帯でございましてか障がい者、またひとり親、多子世帯、こういうところに対しまして、1世帯当たり配布するというところで

5, 500冊を、これは対応したわけでございます。

しかし、市民の多くの皆さまが該当を、すべてするというわけではありまして、生活保護の方に関しましては、どうしてもこれ、配布ということになりますと、生活保護の給付金の中から引かれてしまう、これは制度で致し方ないことでございます。

過去には一律給付というのをやったことがあるんですが、この一律給付のときは、生活保護者世帯に配布しても、それについての、要するに支給費の引きはがしというのはなかったわけでございます。

1点目として、まず、一律給付のような制度、商品券にしても、現金給付にしてもそういったことをお考えにならなかったのか。そして、今回の交付金につきましては、学校給食費ですとか、公共料金ですとかについての軽減に関しまして支出することができる交付金でもございます。仮に、本当に苦しい生活保護世帯を考えた場合につきましては、水道料金の基本料金等を減免ですとか、免除ですとか、そういう一律行いますと、すべての皆さま方に行き渡るということで、ほかの市ではそういったことを実際されているところもございます。

また、給食費につきましても、なかなか、物価高騰によりまして原材料費が高くなると。そういう対応もあったり、また学校に通われる世帯の皆さんに対しまして給食費の減免、無料、そういったことを考えたところもあります。

そういたしますと、市長、今回のこれにつきまして、先ほどのあいさつの中では、生活者支援等、要するに景気浮揚の事業者支援と、この二兎を追うということで提案されたということではありますが、まだまだ北杜市には、今回のこの補正予算におきまして恩恵をどうしても受けられない人がいます。プレミアム付商品券を買いに行きたくても行く足がない方もいらっしゃいます。また、5千円ではありますが、その現金を出したくてもなかなか出せない方も現実いるわけでございます。

前回の、1年前のプレミアム付商品券、振り返ってみますと、実際は3万人ほどの方が一番最初に買われて、あとは2回目に皆さんが並んで大混雑をした、そういった経緯があるということで、今回は再販はしないということで、その代わり12月まで売っていくということにはなっているわけでございますが、それではやはり、どうしても買いに行けない人については、恩恵を受けられないと。そういったことについて、本当に困った人がいることは現実でございます。そこらへんについて。

今後も交付金事業というのは、おそらくあるでしょうし、また国がまだ予備費をすべて使い切っているわけではございません。そういった中では、どのように今後、今回、この予算だったかもしれないけども、今後については、どのように考えるのか。何点かお聞きしましたが、市長のお考えをお伺いしたい。

○議長（加藤紀雄君）

答弁を求めます。

中山産業観光部長。

○産業観光部長（中山和彦君）

内田議員のご質問にお答えいたします。

まず、議員おっしゃるとおり、交付金は使わないとということで、いろんなメニューがあるということでございます。今年の4月に、内閣府地方創生推進室から出された新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金（コロナ禍における原油価格・物価高騰対応分）の創設に

ついてというところで、いろいろなメニューがたしかに載っております。

その中で、今回、市といたしまして考えていたのが、生活者支援に関する事業と。いろいろなメニューがあるんですけども、その中でも、やはり地域経済の活性化と生活者支援を目指したプレミアム付商品券の発行というものがございますので、今回、市といたしましては、プレミアム付商品券の発行を考えるというところでございます。

その中でも、この交付金に対しましては、おっしゃるとおり給食や公共料金、水道料金なども使っているところも、こちらのほうでも聞いております。しかしながら、市といたしまして今回はプレミアム付商品券ということで、多くの方の生活を支援、また地元の中小事業者の支援ということを考えましたときに、このプレミアム付商品券を採用したというところでございます。

お話の中にもございましたけれども、今回のプレミアム付商品券は、引換券をまず郵送するというところでございます。そののちに市内21の郵便局、また道の駅などで販売をします。5千円を持って行って、1万円分の商品券を買うというところでございます。

おっしゃるとおり、その期間、約1カ月ちょっとではございますけれども、その間に買っていただければと考えておりますし、どうしてもその間に買えないという方につきましては、12月28日まで商工・食農課の窓口において販売をするというところで、一人でも多くの方々に、このプレミアム付商品券を活用していただきたいと考えて、今回の制度を考えております。

今後につきましてでございます。本当に困った人に対して、どう考えるかというご質問でございます。

それにつきましては、また今後、市長、副市長とも話し合いをしながら、次の新たな交付金が出た場合、それに対応できる施策を、私といたしましては、産業観光という立場で考えていきたいと考えております。

以上でございます。

○議長（加藤紀雄君）

清水福祉保健部長。

○福祉保健部長（清水市三君）

内田俊彦議員のご質問にお答えいたします。

一律の給付という考え方についてでございます。

この件につきましては、福祉分という形の中で、無償で1万円の商品券を配布するというところの中で、一律、まず5千円の券を配布したらどうだろうと。これは市民全体になりますけれども、そういった考え方もやはり出てまいりまして検討させていただきました。また、併せて住民税非課税世帯を対象として無料の券を配布するという考え方も、当然検討させていただきました。

ただ、今回、国のほうで、まず10万円の臨時特別給付金が支給されるというところもございます。また、県のほうからは、1万5千円の生活困窮者緊急生活支援金が支給される。併せて、子育て世帯に対しては、子育て世帯生活支援特別給付金が支給されるというところもございましたので、今回につきましては、75歳以上の高齢者、障がい者がいる世帯、ひとり親世帯、多子世帯というところに無償配布するという考え方に至ったというところでございます。

以上でございます。

○議長（加藤紀雄君）

中田企画部長。

○企画部長（中田治仁君）

内田俊彦議員のご質問にお答えいたします。

国でも予備費等がまだ残っているというような、今後のことについてのご質問もあったかと思えます。

新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金につきましては、今回、第1弾として2億157万4千円が市のほうに配分されたところでございます。

国の予算のうちの、まだ残っている部分もございまして、今後、国においても補正予算等も編成される可能性もありますので、これらを注視しながら、また今後の施策についても検討を行ってまいりたいと考えております。

以上であります。

○議長（加藤紀雄君）

答弁が終わりました。

内田俊彦君。

○19番議員（内田俊彦君）

先ほど答弁の中で、今後、検討ということでございます。今後といっても、実際、今回の予算が計上されるまでには、相当数の日数があつた中で検討され、ここまで事業スキームが組まれたわけでございます。実際、今後まだまだやらなければならないことがあるわけございまして、それについて、具体的に、今、ノープランなのか、なんか考えているのか、これは市長にお聞きしなければならないわけでございますが、そこについていかがお考えか、市長にお伺いをすると、たしかに一人でも多くの方に行き渡るようにと、先ほどそういう答弁で、産業観光部長、言われました。そういたしますと、生活保護の方は、実際、5万円程度の生活費ということになります。いろんな事情、状況もございまして、一概になんともそれが多いとか、少ないとかということについては、いろんな判断があるわけではございますが、北杜市の地形を考えた場合、5千円を持って1万円の券を最寄りの郵便局に買いに行くということが現実できる方と、できない方が実際おられます。これは生活保護の方にかかわらず、高齢者ですとかいろんな方が行かれません。ですから先ほど言ったとおり、引換券を郵送して、それで代理に買っていただけると、こういうことであります。

しかし、やはり代理も頼めない方というのも想定をしなければいけないし、また実際、前回の出来高は約3万人ですから、1万7千人くらいがやはり、これを買ってくれなかったんですね。それはどういう状況で、1万7千人の方が買えなかったのか、そういったことをきちっと説明ができれば、今言うことについては、その対応でよろしいかなと思えますが、そこについてはどのように考えておられるのか、2点についてお伺いいたします。

○議長（加藤紀雄君）

答弁を求めます。

上村市長。

○市長（上村英司君）

内田俊彦議員のご質問にお答えさせていただきます。

繰り返しの答弁になりますけれども、やはり国のほうで、5.5兆円の予備費活用というのを今、検討しているということもございまして、それを注視しながら、今後どのようなところに手当てしていけばいいのか、しっかり考えて予算を、またお願いするという可能性もある

と思いますので、ぜひお願いしたいと思っております。

以上でございます。

○議長（加藤紀雄君）

ほかの質問に対する答弁は。

中山産業観光部長。

○産業観光部長（中山和彦君）

内田俊彦議員のご質問にお答えいたします。

一人でも多くするという一方で、生活保護でなくても、保護の対象になってはいるんですけども、買えない人がいるのではないかということでございます。

そちらにつきましては、今回の商品券、引換券でございますけれども、その引換券を持っていけば誰でも交換できるということを考えております。前回ですと身分証明書とか、そういうものが要ということだったと思いますけれども、今回はこの引換券がイコール身分証明ということなんです。

それと、知人の方をお願いする場合も、その引換券を渡すことによって、それを買って来てくれというふうな、対象者の同意が取れたということで、あくまでも代理に来た方に対しましても身分証明は必要ないという形を考えております。

それと前回の商品券、一番最初に売れた販売数は3万5,566冊ということなんです。4万6千冊、作りました中で、追加販売を行ったものが4,906冊ということでございます。こちら、買わなかった方につきましては検証というものはしておりませんが、やはり使いやすい商品券をとということで、そういうご意見を参考にさせていただいた結果が今回の引換券という形になっておりますので、ご理解をよろしくお願いいたします。

以上でございます。

○議長（加藤紀雄君）

答弁が終わりました。

内田俊彦君。

○19番議員（内田俊彦君）

先ほど、まず最初の市長答弁でございますが、今後、国の動向を見極めてと、こういうことでございます。しかし、6月議会には1,500万円の畜産振興費を盛っているわけなんです。それが今回、財源更正でされているわけです。そのときは、先を見越してやったわけですよ。やはり、今ある情報、今ある流れ、日々変わる国内外の情勢や、そういったものをやはり当然リサーチもしながら、方向性というものを例えば次は、もう国が農家ですとか、事業者ですとかで、どうも舵を切っている流れは分かるわけでございます。肥料、飼料部分についても基本的には、そういった流れをどうもつくっていくようでございます。そういった中には、国の流れを察知しながら、やはり地方自治体は小回りのきく、本当に現場の調査を、先ほどの中では調査していないという話ですよ、買えなかった人を。やはり現場をよく調査した中で、それを自らの自治体の施策にしていくのがやはり一番効果的だと思います。

今回、これを見ていると、そういった調査がなくてされているということは、産業観光部長もすでにお認めになったわけございまして、本当に困った人たちが買えたのか、買えなかったということについては、いまだ検証が、去年、1年間から今まででされていないと、こういう事実でございます。やっぱり市長、ここは今ある北杜市の実情をしっかりと把握しながら、

国の動向も当然、しかし、そこをどのように先駆けて、ほかの市よりも事業スキームをつくる
ことが次の交付金事業の獲得に有利に働くかというのは、過去の北杜市の実績を見ていくと、
私は過去の実績の中では、先使いもしましたが、そのあとの補てん、そのあとの最終的には決
算をしてみると、決算的には繰越金が10何億円あったり、また基金が積めたり、そういった
現実があったわけですから、そこはぜひとも、今後、現場をよく歩いていただいて、
また職員一丸となつていろんなご意見を聞いていただいて、次の施策や事業スキームをつくつ
ていただきたいと思いますが、いかがでしょうか。

○議長（加藤紀雄君）

答弁を求めます。

中田企画部長。

○企画部長（中田治仁君）

内田俊彦議員のご質問にお答えいたします。

今ある情報をリサーチしながら、職員も一丸となつて次の、早い段階での検討ということだ
と思いますけれども、現在も様々な団体からも要望をいただいたりもしているところもありま
す。そんな中で、様々な事業の支援策につきましても、何点か案も持っているところござい
ますが、今後、それらどういう施策がいいのかということにつきましては、精査をしまいい
たいと考えております。

以上であります。

○議長（加藤紀雄君）

答弁が終わりました。

ほかに質疑はありますか。

（ な し ）

質疑を終結いたします。

お諮りいたします。

ただいま、議題となっております議案第49号は、会議規則第37条第3項の規定により委
員会への付託を省略したいと思います。

これにご異議ありませんか。

（異議なし。の声）

異議なしと認めます。

したがって、議案第49号は委員会への付託を省略することに決定いたしました。

これから討論を行います。

討論はありませんか。

（ な し ）

討論を終結します。

これから、議案第49号に対する採決を行います。

お諮りいたします。

本案は、原案のとおり決定することにご異議ありませんか。

（異議なし。の声）

異議なしと認めます。

したがって、議案第49号は原案のとおり可決することに決定いたしました。

以上で、本臨時会の日程はすべて終了いたしました。
これもちまして、令和4年第2回北杜市議会臨時会を閉会といたします。
大変ご苦労さまでした。

閉会 午後 2時07分

会議の経過を記載して、その内容が相違ないことを証するためにここに署名する。

令和 年 月 日

北杜市議会議長

会議録署名議員

会議録署名議員

会議録署名議員

本会議録の作成にあたった者の氏名は、次のとおりである。

議会事務局長	植 松 宏 夫
議 会 書 記	津 金 胤 寛